

## キンコロスウォーターのO-157に対する効果試験結果について

効果検証には Kelsey-Sykes 法（藤本変法）で効果検証しました。

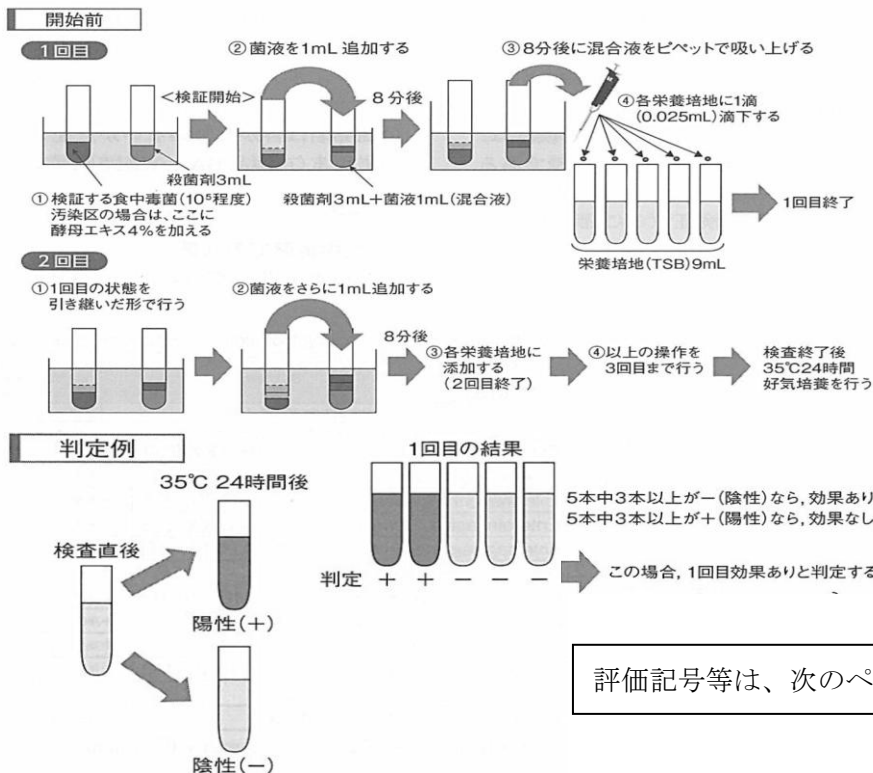
### <Kelsey-Sykes 法（藤本変法）の特徴>

この検査方法の特徴は、

- ①清潔な状態と汚染状態（器材に食材が付着しているレベル）の2条件で効果検証ができる。
- ②1個でも菌が残ると効果が無いという判断になる（ $10^5$ レベルの菌を0にしないとNG）。

上記の検査方法はあまり聞きなれないかもしれませんが、この方法は医薬分野で使用する消毒剤の効果検証に用いる方法です。食品業界で使用する除菌剤に関しては、試験管テスト等様々なメーカー様独自の方法で検証していますが、それだと現場での再現性が非常に低く、あまり参考にならないのが現状です。その点を踏まえて、あえて条件を厳しくして効果検証を行っています。

### <Kelsey-Sykes 法（藤本変法）の手順>



以上の方法で効果検証を行いました。結果は次のページです。

< 検証結果 (Kelsey-Sykes 法 (藤本変法)) >

①キンコロスウォーター

微生物	検査条件	1 回目	2 回目	3 回目	総合評価
Enterohemorrhagic <i>E.coli</i> O157:H7 EDL 933	清潔区	-----	-----	-----	◎
	汚染区	-----	----++	---+++	○

②次亜塩素酸 Na 150ppm (参考情報)

微生物	検査条件	1 回目	2 回目	3 回目	総合評価
Enterohemorrhagic <i>E.coli</i> O157:H7 EDL 933	清潔区	-----	-----	-----	◎
	汚染区	+++++	+++++	+++++	×

1 回目から 3 回目までの結果に関して、  
 - : 生育無し  
 + : 生育有り

総合評価に関して、  
 1 回目まで効果あり . . . △  
 2 回目まで効果あり . . . ○  
 3 回目まで効果あり . . . ◎  
 効果なし . . . ×

以上の結果から、キンコロスウォーターは O-157 に対して、汚染区 (有機物存在下) 条件でも、効果的なデータになっています。逆に次亜塩素酸 Na は汚染区の場合、効果が激減していることも分かりました。

有機物の多い食の現場の O-157 対策として、キンコロスウォーターをお勧めいたします。

以 上